

研修 評価

研修名	自殺予防と対策（Ⅱ） ～看護師がゲートキーパーとしての機能を果たすために～					
領域	政策提言に向けた研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員 無料 非会員 無料	
対象	レベルⅡ～Ⅴ、精神保健福祉関係職員、介護福祉関係職員、自殺ハイリスク者の支援にあたる職員 募集数(90人)応募数(68人)受講数(65人)会員数(33人)非会員数(32人)					
日時	令和 5 年 11 月 17 日（金曜日） 9：30～ 16：30					
ねらい （目標）	1. うつ病の早期発見と対応のポイントを学ぶ 2. うつ傾向にある患者のかかわり方を学ぶ 3. 事例を通して地域で支える仕組みについて学ぶ					
講師	福島 昇 関谷 昭吉					
内容・方法	ZOOMによるオンライン研修 講義 演習 ・自殺対策 どう気づいて、どう対応するか ・自殺・自傷を防ぐための支援 苦しみを理解し支える面談 ・病院と地域の連携で自殺未遂患者を支える取り組み					
結果・評価 （受講者の意見感想含む）	○評価方法：受講後アンケート調査 回収率 68% ○自己課題の達成度：達成できた・ほぼ達成できたが 87%が回答した ○受講者の満足度：満足できた・ほぼ満足できたが 100%が回答した ・相手に寄り添うことや非言語、準言語を意識しながら話を聞き支援していくなど、日々の実践に活かしていきたいとの感想が多かった。					
企画の評価	○目標・内容 ・アンケート結果では内容について否定的な意見はなかった。また 100%が理解できた・ほぼ理解できたと回答した。 ○プログラムの妥当性 ・基本的な知識から実際の地域での活動まで有意義な研修だったとの感想もあり、整合性があったとの評価が 87%であり、プログラムは妥当である。 ○事前準備・当日の運営など ・円滑にグループワークが実施できた。感染対策として換気の実施、 ・講義の途中で（講師のタイミングで）ブレイクアウトルームに移るところに、運営側も参加者側にも戸惑いがあった。					
課題	・ZOOM 参加時の注意点を事前周知。書面だけでなく当日口頭で伝えることも必要。 ・ZOOM でのグループワーク方法について講師との事前打ち合わせの必要性を感じた。					
担当者	教育委員					